

リストNo		10-002	施設コード	05426	
利用用途別分類(施設分類)		高齢者福祉施設			
施設名		ふれあい交流センターいたや(いきいきプラザ中央)			
所在(町名・番地)		中央区板屋町596			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		課長名	亀田 岳史
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課		課長名	大村 貴弘
設置根拠(法)		—			
条例		浜松市ふれあい交流センター条例			
設置目的		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するために設置。(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)			
主な利用者		市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等			
運営形態		指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間		2023/04/01 ~			
管理者名		(福)浜松市社会福祉協議会			
開館時間		9:00 ~ 16:30			
建物情報	総延床面積	888.91	土地情報	土地面積	829.23
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	829.23
	地上階数(主要建物)	14			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2001/2/28			
	経過年数(主要建物)	23			
用途地域		商業地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	110	102	93
	収入計(A)	110	102	93
支出 (千円)	人件費	11,579	11,776	11,470
	物件費(委託料)	2,184	2,187	2,224
	維持補修費(修繕費)	226	243	157
	物件費(光熱水費)	1,993	2,650	2,027
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	15,982	16,856	15,878
	行政コスト(B-A)	15,872	16,754	15,785
収支前年比		94.74	106.14	90.01
(参考)指定管理料		16,124	16,184	16,184
(参考)減価償却費		6,452	6,452	6,452
利用状況	利用コマ数/年	396	355	306
	利用可能コマ数/年	3,100	1,854	618
	施設利用者数/年	10,390	10,241	11,039
	開館日数/年	310	309	309
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	220,158	144,877	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2021	浴室改修工事	20,284			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	09-004	中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)	地域	0.0
	19-004	観光バス公共駐車場	地域	0.1
	04-002	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域	0.2
	12-001	アクトシティ浜松Cゾーン(展示イベントホール)	広域	0.2
	03-001	アクトシティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コングレスセンター)	広域	0.3
	19-001	駅北駐車場	地域	0.3
	03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	0.3
	11-002	浜松市若者コミュニティプラザ	市域	0.3



基本情報	リストNo	10-002	施設コード	05426	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	ふれあい交流センターいたや(いきいきプラザ中央)			施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)		—	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するために設置。(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)							
		主な業務内容	利用者の数養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等						
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。					
	特記事項			交通至便な場所に位置し、市内全域から利用がある。					
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
							のべ募集人員	参加者数	
事業①		教養講座開催事業 ※延べ募集人数は 各講座募集定員数×開催回数の合計、多少募集定員数を超えても受講申し込みを受け付けている			2023	—	352	507	
					2022	—	334	386	
					2021	—	256	192	
事業②		出前講座・映画出張上映会(2021年度から出前講座のみ実施) ※募集定員なし、施設利用者が自由に参加(延べ募集人数は該当なし)			2023	—	—	75	
					2022	—	—	19	
					2021	—	—	104	
事業③		地域との交流(いたや祭り、作品展等の催し物)			2023	—	—	249	
					2022	—	—	中止	
					2021	—	—	中止	
事業④		—			2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成13年開館と比較的新しい施設であるが、経年劣化により修繕が必要な箇所が増えてきている。							
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
		広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理制度導入済みである。								

項目				項目			
2023	2022	2021		2023	2022	2021	
行政コスト/面積(円)	17,856	18,848	17,758	1人当たりのコスト(円)	1,528	1,636	1,430
施設利用率(%)	12.8	19.1	49.5	1開館日当たりのコスト(円)	51,200	54,220	51,084
1日当たり利用者(人)	34	33	36	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価
（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価

参考
公共施設の
区域毎の
方向性

利用者の
ニーズや
地域性等
を踏まえ、
施設機能
の複合化
を進めます。
その上で、
拠点的な
施設とし
ては、指
定管理者
制度など
民間ノウ
ハウの活
用による
運営の拡
大や長寿
命化に取
り組みま
す。それ
以外の施
設は、従
来の公共
サービスの
提供手法
を見直し
、利用団
体への管
理主体変
更や民間
への移管
、代替サ
ービスへ
の転換、
他施設へ
の複合化
を進めま
す。

利用用途別
分類毎の
方向性

これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。

個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。

リストNo	10-003	施設コード	05427
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	ふれあい交流センター竜西		
所在(町名・番地)	中央区中郡町684-1		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課	課長名 大村 貴弘
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあい交流センター条例		
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)		
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	(株)ヤタロー		
開館時間	9:00 ~ 16:30		
建物情報	総延床面積	1,803.52	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1988/3/20	
	経過年数(主要建物)	36	
用途地域		市街化調整区域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	・令和5年12月13日機械室動力源が切れたことによる断水のため、午後から休館。その日のうちに原因判明し、翌日営業に影響なし。 ・R512・令和6年1月30日、31日の2日間受変電設備改修工事のため休館		



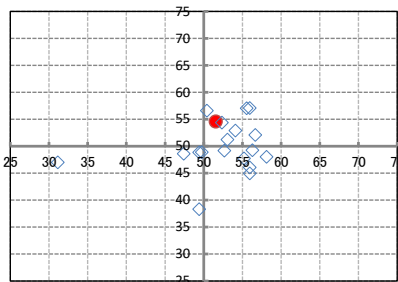
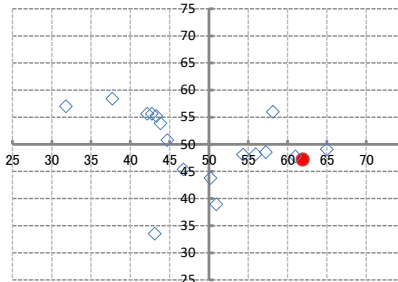
項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	908	207
	収入計(A)	908	207
支出(千円)	人件費	12,997	12,497
	物件費(委託料)	6,312	5,895
	維持補修費(修繕費)	1,949	1,362
	物件費(光熱水費)	3,625	4,410
	物件費(借地料)	1,485	1,485
	支出計(B)	26,368	25,649
行政コスト(B-A)		25,460	22,179
収支前年比		100.07	114.71
(参考)指定管理料		28,000	25,300
(参考)減価償却費		19,412	19,412
利用状況	利用コマ数/年	1,774	1,725
	利用可能コマ数/年	6,776	6,864
	施設利用者数/年	37,395	38,375
	開館日数/年	308	312
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	266,382	193,739	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	受変電設備改修工事	15,400			
2022	浴室改修工事	42,711			
2022	屋根防水工事	11,600			
2015	空調設備改修工事	67,476			
2007	老人福祉センター竜西荘下水道接続工事	7,350			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類			
その他の分類	17-003	万斛庄屋公園	地域 0.2
	07-021	なかごおり第2放課後児童会	生活 0.5
	15-032	中郡小学校	生活 0.5
	15-113	中郡中学校	生活 0.7
	08-032	橋爪幼稚園	生活 0.7
	08-028	万斛幼稚園	生活 0.8
	11-009	浜北障害者生活介護施設光の園	市域 0.9
	03-054	浜名協働センター	生活 1.1



基本情報	リストNo	10-003	施設コード	05427	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	ふれあい交流センター竜西			施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)							
		主な業務内容	利用者の数養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等						
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。					
	特記事項			—					
	主な事業	事業① 機能回復訓練の実施	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
					のべ募集人員	参加者数			
			2023	—	—	4,45			
			2022	—	—	5,47			
			2021	—	—	4,55			
事業② 教養講座の実施 ※延べ募集人員は、各講座の募集人数×開催回数の合計 参加者数は各講座の参加者数×開催回数の合計			2023	—	1,462	75			
			2022	—	1,046	72			
			2021	—	405	18			
事業③ 地域との交流(竜西まつり、作品展、地域ボランティア等による催し物の開催)			2023	—	—	1,77			
			2022	—	—	36			
			2021	—	—	10			
事業④ —			2023	—	—	—			
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	築35年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増加が予想される。							
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。また、令和4年度に浴室をキッズルーム等に改修した。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	指定管理制度導入済みである。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	14,117	14,107	12,298	1人当たりのコスト(円)	681	663	599
	施設利用率(%)	26.2	25.1	28.2	1開館日当たりのコスト(円)	82,662	81,545	70,859
	1日当たり利用者(人)	121	123	118	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況・前 年収支比率等 による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等 総合管理計画 (令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。 高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。 また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。 今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。 全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。								

リストNo	10-004	施設コード	05428				
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設						
施設名	ふれあい交流センター湖東						
所在(町名・番地)	中央区和地町1833-1						
利用者の圏域別分類等	地域		非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名	亀田 岳史			
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課	課長名	大村 貴弘			
設置根拠(法)	—						
条例	浜松市ふれあい交流センター条例						
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)						
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等						
運営形態	指定管理者						
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ～						
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会						
開館時間	9:00 ～ 16:30						
建物情報	総延床面積	1,063.03	土地情報	土地面積	5,931.72		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	5,931.72		
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.83				代表地目(現況地目)	官公庁用地
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	1971/3/31					
	経過年数(主要建物)	53					
用途地域	市街化調整区域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
設置事業費	—	—	—				
財源	国・県	—	—	—			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	—	—	—			
	一般財源	—	—	—			
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	570	110	119
	収入計（A）	570	110	119
支出（千円）	人件費	15,681	10,891	11,427
	物件費（委託料）	4,026	4,440	4,374
	維持補修費（修繕費）	30	168	2,085
	物件費（光熱水費）	1,903	2,456	1,602
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	21,640	17,955	19,488
行政コスト（B－A）		21,070	17,845	19,369
収支前年比		118.07	92.13	108.14
（参考）指定管理料		22,000	22,642	22,642
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	618	793	970
	利用可能コマ数/年	3,090	3,090	3,090
	施設利用者数/年	15,269	16,141	14,614
	開館日数/年	309	309	309
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	147,133	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2015	大広間空調設備更新工事	6,543			
	2006	改修工事	2,268			
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	08-040	和地幼稚園	生活		0.1	
	14-050	浜松第37分団	コミュニティ		0.2	
	03-087	下之谷会館	コミュニティ		0.2	
	24-020	和地排水機場	—		0.6	
	26-011	湖東中継ポンプ場	—		0.8	
	15-119	湖東中学校	生活		0.9	
	13-039	湖東団地	地域		0.9	
	03-089	湖東西会館	コミュニティ		1.1	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	10-004	施設コード	05428	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課			
	施設名	ふれあい交流センター湖東			施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)								
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等							
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。					
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況		
								のべ募集人員	参加者数	
		事業①	機能回復訓練の実施に関する業務				2023	—	—	6,051
							2022	—	—	7,331
							2021	—	—	7,581
事業②		教養の向上及びレクリエーションの実施に関する業務(2020年コロナのため未実施)				2023	—	—	60	
						2022	—	—	67	
						2021	—	—	73	
事業③		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業④		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
					2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築53年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増加が予想される。								
	対応策	施設・設備の改修や備品の更新を計画的に行う。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。				
		広域化	—	—	—	—				
民生導入	指定管理制度導入済みである。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	19,821	16,787	18,221	1人当たりのコスト(円)	1,380	1,106	1,325
	施設利用率(%)	20.0	25.7	31.4	1開館日当たりのコスト(円)	68,188	57,751	62,683
	1日当たり利用者(人)	49	52	47	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考

利用者の圏域毎の方向性

利用用途別分類毎の方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。
高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。
また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。
今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。
全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。

1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—
2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

個別方針

当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。

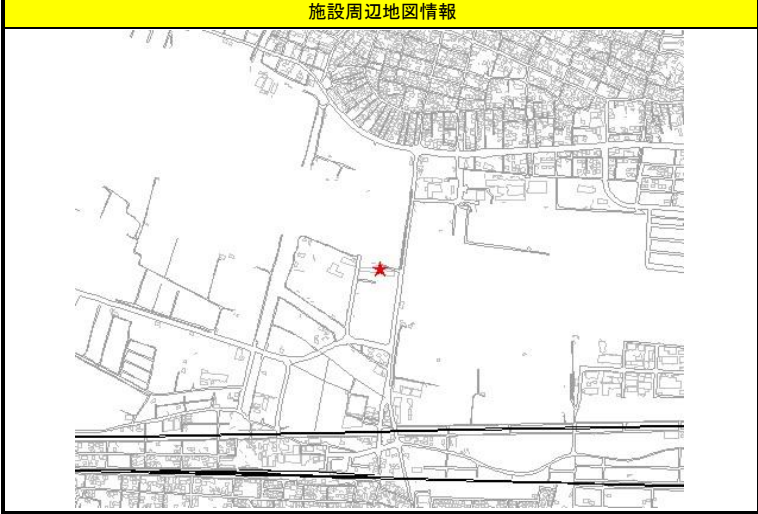
リストNo	10-005	施設コード	05429
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	ふれあい交流センター湖南		
所在(町名・番地)	中央区馬郡町3805-1		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課	課長名 大村 貴弘
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあい交流センター条例		
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)		
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会		
開館時間	9:00 ~ 16:30		
建物情報	総延床面積	1,761.36	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1985/3/25	
	経過年数(主要建物)	39	
用途地域		市街化調整区域	代表地目(現況地目) 官公庁用地
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	988	70	61
	収入計(A)	988	70	61
	人件費	1,505	14,635	11,461
支出(千円)	物件費(委託料)	3,814	4,945	5,232
	維持補修費(修繕費)	0	1,457	60
	物件費(光熱水費)	102	4,912	3,759
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	5,421	25,949	20,512
行政コスト(B-A)		4,433	25,879	20,451
収支前年比		17.13	126.54	99.77
(参考)指定管理料		4,000	25,584	25,584
(参考)減価償却費		17,456	17,456	17,456
利用状況	利用コマ数/年	—	1,466	1,603
	利用可能コマ数/年	—	3,399	3,708
	施設利用者数/年	—	21,905	18,643
	開館日数/年	—	309	309
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
	有形固定資産(千円)			
BS情報	土地	建物	その他	
	363,408	127,023	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	ユニバーサルデザイン化整備工事	36,345			
	2023	大規模改修工事	457,283			
	2015	空調設備改修工事	59,853			
	2010	温水器更新工事	3,675			

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別
	10-007	ふれあい交流センターつつじ	地域
	10-008	ふれあい交流センター舞阪	地域
その他の分類	05-039	雄踏グラウンドダックアウト	小規模等
	16-004	外国人学習支援センター	市域
	18-005	旧雄踏総合事務所別館	地域
	15-122	雄踏中学校	生活
	13-038	領家団地	地域
	23-093	舞阪駅南北連絡通路	地域
	04-036	重要文化財中村家住宅	文化財
	13-034	第3吹上団地	地域



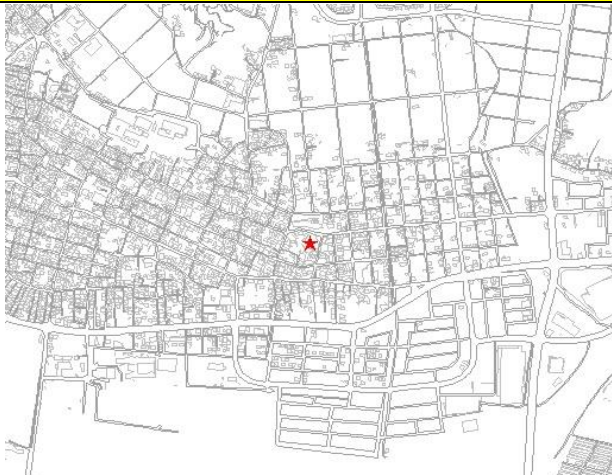
基本情報	リストNo	10-005	施設コード	05429	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	ふれあい交流センター湖南			施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)							
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等						
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。					
	特記事項			—					
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
							のべ募集人員	参加者数	
事業①		機能回復訓練の実施に関する業務			2023	—	—	—	
					2022	—	—	5,499	
					2021	—	—	5,374	
事業②		教養の向上及びレクリエーションの実施に関する業務			2023	—	—	—	
					2022	—	—	34	
					2021	—	—	603	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	大規模改修は完了したが、雨漏りの発生や使い勝手の悪さ等の利用者からの訴えがある。							
	対応策	必要に応じた修繕対応をしていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	指定管理制度導入済みである。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,517	14,693	11,611	1人当たりのコスト(円)	—	1,181	1,097
	施設利用率(%)	—	43.1	43.2	1開館日当たりのコスト(円)	—	83,751	66,184
	1日当たり利用者(人)	—	71	60	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。								

リストNo		10-007	施設コード	05431	
利用用途別分類(施設分類)		高齢者福祉施設			
施設名		ふれあい交流センターつつじ			
所在(町名・番地)		中央区雄踏町字布見4720			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		課長名	亀田 岳史
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課		課長名	大村 貴弘
設置根拠(法)		—			
条例		浜松市ふれあい交流センター条例			
設置目的		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)			
主な利用者		市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等			
運営形態		直営			
指定管理または包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 16:30			
建物情報	総延床面積	353.98	土地情報	土地面積	1,091.00
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	1,091.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1991/10/31			
	経過年数(主要建物)	32		代表地目(現況地目)	雑種地
用途地域		第二種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	286	286	328
	維持補修費（修繕費）	86	0	608
	物件費（光熱水費）	571	656	598
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	943	942	1,534
行政コスト（B－A）		943	942	1,534
収支前年比		100.11	61.41	116.21
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		3,654	3,654	3,654
利用状況	利用コマ数/年	453	409	409
	利用可能コマ数/年	620	618	618
	施設利用者数/年	3,303	3,348	3,422
	開館日数/年	310	309	309
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	17	4,873	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2021	交流センター外壁・屋根改修工事	7,160			
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	10-005	ふれあい交流センター湖南	地域		1.2	
そ の 他 の 分 類	04-036	重要文化財中村家住宅	文化財		0.5	
	13-038	領家団地	地域		0.5	
	08-017	雄踏保育園	生活		0.5	
	03-011	雄踏文化センター	地域		0.6	
	15-122	雄踏中学校	生活		0.7	
	16-009	雄踏学校給食センター	地域		0.7	
	15-047	雄踏小学校	生活		0.7	
	06-009	雄踏図書館	地域		0.7	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	10-007	施設コード	05431	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	ふれあい交流センターつつじ			施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	高齢者の生きがいがいづくり及び地域の子育てを支援							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		高齢者の生きがいがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)							
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等						
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				高齢者の価値観・意識の多様化により利用者数は減少傾向である。			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項				—				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	談話室の利用			2023	—	—	1,76
						2022	—	—	2,20
						2021	—	—	2,39
		事業②	集会室の利用			2023	—	—	1,17
2022						—	—	85	
2021						—	—	81	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
	2022				—	—	—		
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築31年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増加が予想される。							
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
		広域化	—	—	—	—			
民生導入	—								

項目				項目			
	2023	2022	2021		2023	2022	2021
行政コスト/面積(円)	2,664	2,661	4,334	1人当たりのコスト(円)	285	281	448
施設利用率(%)	73.1	66.2	66.2	1開館日当たりのコスト(円)	3,042	3,049	4,964
1日当たり利用者(人)	11	11	11	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価

参考：公共施設の区域毎の方向性
利用者の
利用用途別分類毎の方向性

個別方針

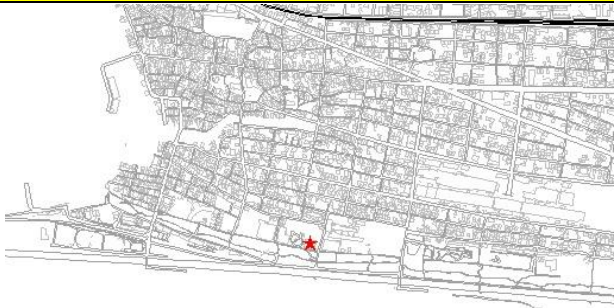
1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—
2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。

リストNo		10-008	施設コード	05430	
利用用途別分類(施設分類)		高齢者福祉施設			
施設名		ふれあい交流センター舞阪			
所在(町名・番地)		中央区舞阪町舞阪2668-349			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		課長名	亀田 岳史
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課		課長名	大村 貴弘
設置根拠(法)		—			
条例		浜松市ふれあい交流センター条例			
設置目的		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するために設置。(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)			
主な利用者		市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等			
運営形態		直営			
指定管理または包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 16:30			
建物情報	総延床面積	1,989.48	土地情報	土地面積	1,703.05
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	1,703.05
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1983/9/12			
	経過年数(主要建物)	40		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	・複合施設(舞阪保健センター)分を含む。				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	86	86	2
	収入計（A）	86	86	2
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	1,124	1,349	1,003
	維持補修費（修繕費）	1,174	74	396
	物件費（光熱水費）	1,588	1,950	1,153
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	3,886	3,373	2,552
	行政コスト（B－A）	3,800	3,287	2,550
収支前年比		115.61	128.90	82.34
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		12,422	12,422	12,422
利用状況	利用コマ数/年	838	743	753
	利用可能コマ数/年	1,350	1,345	1,076
	施設利用者数/年	8,846	7,085	7,297
	開館日数/年	270	269	269
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	75,779	124,222	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	受変電設備改修工事	8,202			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域		1.7	
	10-022	舞阪高齢者福祉施設	コミュニティ		1.9	
	10-005	ふれあい交流センター湖南	地域		1.9	
その他の分類	06-008	舞阪図書館・郷土資料館	地域		0.1	
	15-118	舞阪中学校	生活		0.1	
	05-010	舞阪総合体育館	地域		0.2	
	08-036	舞阪幼稚園	生活		0.4	
	08-016	舞阪第2保育園	生活		0.5	
	13-027	今切団地	地域		0.6	
	13-033	第2浜表団地	地域		0.6	
	04-037	舞坂宿脇本陣	文化財		0.8	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	10-008	施設コード	05430	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	ふれあい交流センター舞阪			施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	舞阪保健センター							
施設運営分析	関連政策名	高齢者の生きがいがづくり及び地域の子育てを支援							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		高齢者の生きがいがづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するために設置。(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)							
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等						
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 高齢者の価値観・意識の多様化により利用者数は減少傾向である。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。								
	特記事項 —								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	マッサージ機の利用	2023	—	—	2,502		
				2022	—	—	1,908		
2021				—	—	3,491			
事業②		同好会活動事業	2023	—	—	5,074			
			2022	—	—	3,802			
			2021	—	—	3,209			
事業③		各種講座の開催	2023	—	—	245			
			2022	—	—	285			
			2021	—	—	352			
事業④		集団がん検診	2023	—	—	750			
	2022		—	—	750				
	2021		—	—	750				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築39年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増加が予想される。							
	対応策	当面、事後保全による修繕を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
		広域化	—	—	—	—			
民活導入	—								

参考指標	項目				項目			
	2023	2022	2021	2023	2022	2021		
	行政コスト/面積(円)	1,910	1,652	1,282	1人当たりのコスト(円)	430	464	349
	施設利用率(%)	62.1	55.2	70.0	1開館日当たりのコスト(円)	14,074	12,219	9,480
	1日当たり利用者(人)	33	26	27	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

縦軸

利用状況、前年収支比等による評価

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

横軸

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考

利用者の圏域毎の方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

参考

利用用途別分類毎の方向性

これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。

高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。

また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。

今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。

全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。

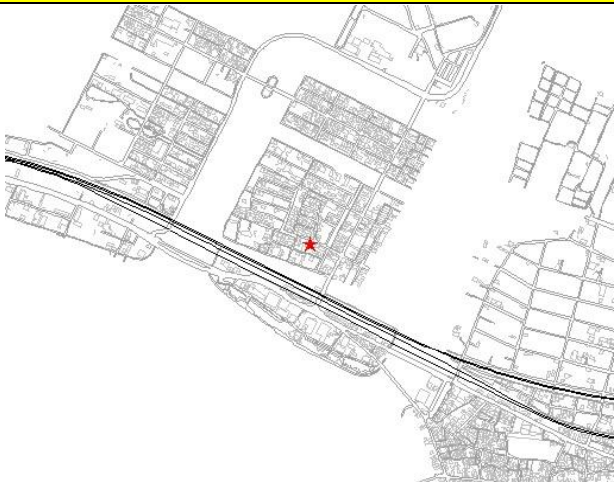
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。

リストNo		10-009		施設コード		05432	
利用用途別分類(施設分類)		高齢者福祉施設					
施設名		ふれあい交流センター陽だまり					
所在(町名・番地)		中央区舞阪町弁天島2658-19					
利用者の圏域別分類等		地域			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課			課長名	亀田 岳史	
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課			課長名	大村 貴弘	
設置根拠(法)		—					
条例		浜松市ふれあい交流センター条例					
設置目的		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
主な利用者		市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等					
運営形態		指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間		2023/04/01 ~					
管理者名		(福)浜松市社会福祉協議会					
開館時間		9:00 ~ 16:30					
建物情報	総延床面積	286.00		土地情報	土地面積	1,527.51	
	構造(主要建物)	木造			うち所有面積	1,527.51	
	地上階数(主要建物)	1					
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00	
	建築年月日(主要建物)	2001/3/30					
	経過年数(主要建物)	23			代表地目(現況地目)	宅地	
用途地域		第一種住居地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	297	66	334
	収入計(A)	297	66	334
支出 (千円)	人件費	4,357	4,095	3,906
	物件費(委託料)	1,569	1,138	1,026
	維持補修費(修繕費)	163	460	286
	物件費(光熱水費)	1,334	1,548	1,301
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	7,423	7,241	6,519
行政コスト(B-A)		7,126	7,175	6,185
収支前年比		99.32	116.01	95.92
(参考) 指定管理料		9,111	9,623	9,623
(参考) 減価償却費		0	2,113	2,901
利用 状況	利用コマ数/年	758	762	796
	利用可能コマ数/年	1,076	1,080	1,076
	施設利用者数/年	4,999	3,915	4,141
	開館日数/年	269	270	269
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	61,321	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2021	交流センター外壁・屋根改修工事	4,580			
	2014	ろ過機更新工事	6,828			
	2013	屋根改修工事	2,174			
	2011	ユニバーサルデザイン化整備工事	7,084			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	10-022	舞阪高齢者福祉施設	コミュニティ	0.4		
	10-008	ふれあい交流センター舞阪	地域	1.7		
その他の分類	08-015	舞阪第1保育園	生活	0.2		
	26-015	蓬莱園中継ポンプ場	—	0.2		
	04-046	弁天島駅観光案内所	小規模等	0.2		
	13-036	蓬莱園団地	地域	0.3		
	26-014	弁天島中継ポンプ場	—	0.4		
	01-015	舞阪支所	地域	0.6		
	26-016	観月園中継ポンプ場	—	0.6		
	04-017	渚園	地域	0.7		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	10-009	施設コード	05432	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	ふれあい交流センター陽だまり			施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)							
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等						
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。					
	特記事項			—					
	施設運営分析	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況
						のべ募集人員	参加者数		
事業①			自主事業の講座(手作り教室、健康教室等)			2023	—	—	58
						2022	—	—	43
						2021	—	—	13
事業②			—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業③			—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業④			—			2023	—	—	—
	2022	—				—	—		
	2021	—				—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成13年開館と新しい施設であるが、経年劣化により修繕が必要な箇所が増えてきている。							
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。また、ふれあい交流センターでは、令和2年度から7年度にかけて、順次、浴室を講座室に改修する工事を行っていく予定であるが、陽だまりは、令和2年4月から、浴室を介護予防事業参加者に限定して利用可とし、地元や利用者と協議を重ね、令和6年度末を限度として終了することとした。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	指定管理制度導入済みである。								

項目				項目			
2023	2022	2021		2023	2022	2021	
行政コスト/面積(円)	24,916	25,087	21,626	1人当たりのコスト(円)	1,425	1,833	1,494
施設利用率(%)	70.4	70.6	74.0	1開館日当たりのコスト(円)	26,491	26,574	22,993
1日当たり利用者(人)	19	15	15	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価
（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価

参考
公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

利用用途別分類毎の方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。
高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。
また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。
今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。
全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。

1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—
2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

個別方針

当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。

リストNo	10-010	施設コード	05434
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	ふれあい交流センター可美		
所在(町名・番地)	中央区増楽町1645-1		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課	課長名 大村 貴弘
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあい交流センター条例		
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)		
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会		
開館時間	9:00 ~ 16:30		
建物情報	総延床面積	1,729.23	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1992/7/9	
	経過年数(主要建物)	31	
用途地域		第一種住居地域	
財源	区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)
	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	736	83	83
	収入計(A)	736	83	83
支出(千円)	人件費	12,218	11,430	11,414
	物件費(委託料)	4,897	4,665	4,523
	維持補修費(修繕費)	1,787	653	760
	物件費(光熱水費)	2,898	3,218	1,941
	物件費(借地料)	1,271	1,271	1,271
	支出計(B)	23,071	21,237	19,909
行政コスト(B-A)		22,335	21,154	19,826
収支前年比		105.58	106.70	102.43
(参考)指定管理料		24,700	26,469	26,469
(参考)減価償却費		15,683	15,725	15,725
利用状況	利用コマ数/年	1,899	1,215	1,736
	利用可能コマ数/年	3,708	3,708	3,708
	施設利用者数/年	26,219	23,262	22,022
	開館日数/年	309	309	309
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	148,968	224,651	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	外壁改修工事	37,136			
	2014	空調設備改修工事	36,180			
	2007	給湯ボイラー交換工事(機械設備工事)	6,090			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	08-041	可美幼稚園	生活		0.2	
	07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活		0.2	
	15-051	可美小学校	生活		0.2	
	03-049	可美協働センター	生活		0.4	
	05-014	可美公園体育館、水泳場、弓道場	地域		0.5	
	15-125	可美中学校	生活		0.5	
	08-018	可美保育園	生活		0.9	
06-003	西図書館	地域		1.0		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	10-010	施設コード	05434	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	ふれあい交流センター可美			施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)							
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等						
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 事業展開により子育て世代の利用が増え、今後増加が見込まれる。								
	特記事項 —								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	教養講座			2023	—	611	350
						2022	—	473	390
						2021	—	461	460
		事業②	健康増進に関する指導			2023	—	不定数	4,540
2022						—	不定数	3,500	
2021						—	不定数	3,230	
事業③		生活相談・健康相談			2023	—	不定数	—	
					2022	—	不定数	—	
					2021	—	不定数	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
	2022				—	—	—		
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築31年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増大が予想される。							
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。令和6年度に浴室を運動室等に改修する工事を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
		広域化	—	—	—	—			
民生導入	指定管理者導入済みである。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	12,916	12,233	11,465	1人当たりのコスト(円)	852	909	900
	施設利用率(%)	51.2	32.8	46.8	1開館日当たりのコスト(円)	72,282	68,460	64,162
	1日当たり利用者(人)	85	75	71	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況・前 年収支比率等 による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等 総合管理計画 (令和3年4月 改訂)より抜 粋	利用者の 圏域毎の 方向性							
	利用用途別 分類毎の 方向性							
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。							

リストNo	10-011	施設コード	05433
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	ふれあい交流センター江之島		
所在(町名・番地)	中央区江之島町606		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課	課長名 大村 貴弘
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあい交流センター条例		
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)		
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会		
開館時間	9:00 ~ 16:30		
建物情報	総延床面積	1,215.15	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.48	
	耐震工事(主要建物)	有	
	建築年月日(主要建物)	1980/3/20	
	経過年数(主要建物)	44	
用途地域		市街化調整区域	
財源	区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)
	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	R5.4~R6.3まで大規模改修のため休館。		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	573	194	199
	収入計(A)	573	194	199
支出(千円)	人件費	1,554	11,801	11,204
	物件費(委託料)	228	4,346	4,097
	維持補修費(修繕費)	0	32	226
	物件費(光熱水費)	104	2,258	1,370
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,886	18,437	16,897
行政コスト(B-A)		1,313	18,243	16,698
収支前年比		7.20	109.25	99.64
(参考)指定管理料		3,194	24,398	24,398
(参考)減価償却費		7,804	7,804	7,804
利用状況	利用コマ数/年	—	1,136	879
	利用可能コマ数/年	—	2,472	2,472
	施設利用者数/年	—	20,322	16,925
	開館日数/年	—	309	309
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	319,861	11,351	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	ユニバーサルデザイン化整備工事	30,516			
	2023	大規模改修工事	351,362			
	2013	空調設備改修工事	16,230			
	2008	給水配管改修工事	5,595			
	2006	ソーラーパネル改修工事(機械設備工事)	4,515			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	01-016	南行政センター	地域	0.1
	15-123	江南中学校	生活	0.4
	17-005	遠州灘海浜公園	地域	0.4
	24-025	寺脇排水機場	—	0.5
	05-015	江之島アーチェリー場	地域	0.7
	24-023	五島西排水機場	—	0.7
	20-008	南部清掃工場	地域	0.8
	04-020	浜松まつり会館	地域	0.9



基本情報	リストNo	10-011	施設コード	05433	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課			
	施設名	ふれあい交流センター江之島			施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)								
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等							
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				令和5年度の大規模改修により新規利用者の増加が見込まれる。					
	特記事項				—					
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数	
事業①		教養講座				2023	—	—	—	
						2022	—	2,244	1,945	
						2021	—	2,183	1,842	
事業②		生活相談・健康相談				2023	—	—	—	
						2022	—	不定数	13	
						2021	—	不定数	22	
事業③		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業④		—				2023	—	—	—	
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築44年が経過しているため、令和5年度に大規模改修を実施。								
	対応策	施設の機能が更新されたため、今後も適切な施設維持管理に努める。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。				
	広域化	—	—	—	—					
民生導入	指定管理者導入済みである。									

項目				項目			
2023	2022	2021		2023	2022	2021	
行政コスト/面積(円)	1,081	15,013	13,742	1人当たりのコスト(円)	—	898	987
施設利用率(%)	—	46.0	35.6	1開館日当たりのコスト(円)	—	59,039	54,039
1日当たり利用者(人)	—	66	55	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

参考
公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

利用用途別分類毎の方向性

これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。
高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。
また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。
今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。
全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。

1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—
2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

個別方針

当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。

リストNo	10-012	施設コード	05435
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	ふれあい交流センター青龍		
所在(町名・番地)	中央区青屋町300		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課	課長名 大村 貴弘
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあい交流センター条例		
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)		
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会		
開館時間	9:00 ~ 16:30		
建物情報	総延床面積	2,063.48	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2003/3/25	
	経過年数(主要建物)	21	
用途地域		市街化調整区域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



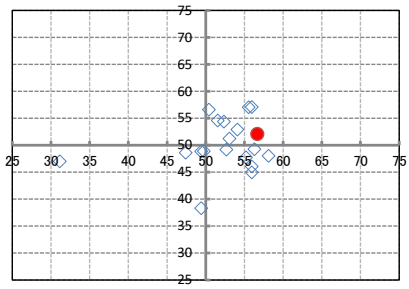
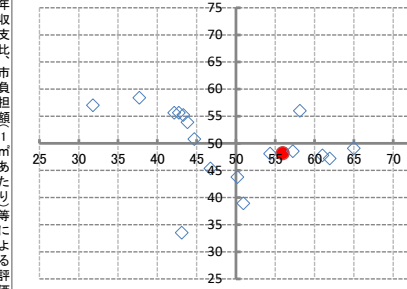
項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	207	217
	収入計(A)	207	217
支出(千円)	人件費	15,836	11,739
	物件費(委託料)	6,761	6,612
	維持補修費(修繕費)	799	2,321
	物件費(光熱水費)	5,175	5,759
	物件費(借地料)	10,536	10,677
	支出計(B)	39,107	37,108
行政コスト(B-A)		38,900	36,891
収支前年比		105.45	98.50
(参考)指定管理料		15,963	16,088
(参考)減価償却費		13,290	13,290
利用状況	利用コマ数/年	1,552	1,686
	利用可能コマ数/年	4,944	4,286
	施設利用者数/年	31,184	27,271
	開館日数/年	309	309
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	24,367	320,933	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2016	給湯設備更新工事	7,055			
2010	チラーユニット圧縮機交換工事	1,859			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	09-005	東部保健福祉センター(いきいきプラザ天竜川)	地域 0.0
	23-125	天竜川駅自由通路	地域 0.4
	15-114	天竜中学校	生活 0.8
	07-071	たけの子放課後児童会	生活 0.8
	15-038	和田東小学校	生活 0.8
	14-042	浜松第20分団	コミュニティ 0.9
	14-009	東消防署	地域 0.9
	07-026	和田っ子放課後児童会	生活 1.0



基本情報	リストNo	10-012	施設コード	05435	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	ふれあい交流センター青龍			施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		高齢者の生きがいがいつくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)							
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等						
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			事業展開により子育て世代の利用が増え増加が見込まれる。					
	特記事項			—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	教養講座			2023	—	470	492
						2022	—	350	352
						2021	—	284	112
事業②		生活相談・健康相談			2023	—	不定数	—	
					2022	—	不定数	—	
					2021	—	不定数	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築21年が経過し、施設・設備の経年劣化により修繕が必要な箇所が増えてきている。							
	対応策	中長期的な修繕計画を立て、市民サービスの低下につながらないように計画的に修繕を行っていく。また令和6年度に浴室を運動室等に改修工事を実施。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	指定管理者導入済みである。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	18,852	17,878	18,149	1人当たりのコスト(円)	1,247	1,353	1,251
	施設利用率(%)	31.4	39.3	39.7	1開館日当たりのコスト(円)	125,890	119,388	121,201
	1日当たり利用者(人)	101	88	97	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間/ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。 高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。 また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。 今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。 全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点で管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。							

リストNo	10-013	施設コード	05808
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	ふれあい交流センター萩原		
所在(町名・番地)	中央区初生町1		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課	課長名 大村 貴弘
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあい交流センター条例		
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)		
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会		
開館時間	9:00 ~ 16:30		
建物情報	総延床面積	1,707.82	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1991/3/29	
	経過年数(主要建物)	33	
用途地域		市街化調整区域	
財源	区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)
	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	911	103	196
	収入計(A)	911	103	196
支出(千円)	人件費	12,362	11,446	11,381
	物件費(委託料)	5,449	5,167	5,149
	維持補修費(修繕費)	284	855	2,270
	物件費(光熱水費)	3,461	4,105	2,482
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	21,556	21,573	21,282
行政コスト(B-A)		20,645	21,470	21,086
収支前年比		96.16	101.82	113.57
(参考)指定管理料		27,200	26,238	26,238
(参考)減価償却費		18,463	18,463	18,463
利用状況	利用コマ数/年	1,046	792	819
	利用可能コマ数/年	4,326	3,392	3,090
	施設利用者数/年	35,173	33,597	37,733
	開館日数/年	309	309	309
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	339,663	234,705	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	浴室改修工事	47,377			
	2022	給水設備改修工事	7,370			
	2013	空調設備改修工事	38,884			
	2013	屋上防水改修工事	3,675			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	18-071	有玉西町防災倉庫	地域	0.5
	13-012	萩丘団地	地域	0.8
	24-005	大菩薩湯水機場	—	0.9
	13-054	初生団地	地域	0.9
	13-025	有玉台団地	地域	1.0
	24-004	欠下排水機場	—	1.0
	15-024	萩丘小学校	生活	1.1
	14-036	浜松第10分団	コミュニティ	1.1



基本情報	リストNo	10-013	施設コード	05808	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	ふれあい交流センター萩原			施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)							
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等						
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項				—				
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況
								のべ募集人員	参加者数
事業①		教養講座開催事業 ※延べ募集人数は 各講座募集定員数×開催回数の合計、 多少募集定員数を超えても受講申し込みを受け付けている				2023	—	424	52
						2022	—	554	42
						2021	—	239	19
事業②		出前講座 ※募集定員なし、施設利用者が自由に参加(延べ募集人数は該当なし)				2023	—	—	26
						2022	—	—	4
						2021	—	—	6
事業③		地域との交流(萩原まつり、作品展等の催し物)				2023	—	—	47
						2022	—	—	30
	2021					—	—	中止	
事業④	—				2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築32年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増加が予想される。							
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。また、令和4年度に浴室をキッズルーム等に改修した。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	指定管理制度導入済みである。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	12,089	12,572	12,347	1人当たりのコスト(円)	587	639	559
	施設利用率(%)	24.2	23.3	26.5	1開館日当たりのコスト(円)	66,812	69,482	68,239
	1日当たり利用者(人)	114	109	122	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設の 総合管理計画 (令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
		個別方針	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。 高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。 また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。 今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。 全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。					
	1資産の見直し		複合化	統廃合	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。								

リストNo		10-014		施設コード		00928	
利用用途別分類(施設分類)		高齢者福祉施設					
施設名		細江介護予防センター					
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀4581					
利用者の圏域別分類等		地域			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課			課長名	亀田 岳史	
	施設	健康福祉部浜名福祉事業所・長寿保険課			課長名	久米 章史	
設置根拠(法)		—					
条例		—					
設置目的		高齢者の健康増進と生きがいのある生活を維持し、要介護状態及び要支援状態になることを予防するために設置					
主な利用者		浜松市内在住の60歳以上の者					
運営形態		直営					
指定管理または包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		8:30 ～ 17:15					
建物情報	総延床面積	549.60		土地情報	土地面積	2,507.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	2,507.00	
	地上階数(主要建物)	1					
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-					
	建築年月日(主要建物)	2002/3/15					
	経過年数(主要建物)	22			代表地目(現況地目)	宅地	
用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	421
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	267	498	0
	収入計(A)	267	498	421
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,141	1,124	1,159
	維持補修費(修繕費)	142	57	259
	物件費(光熱水費)	935	1,076	1,003
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	2,218	2,257	2,421
行政コスト(B-A)		1,951	1,759	2,000
収支前年比		110.92	87.95	77.64
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		4,473	4,473	4,473
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	3,961	3,647	4,459
	開館日数/年	242	245	243
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	65,286	67,257	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2018	浜松市細江介護予防センター空調設備改修工事	10,044			
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域		0.1	
	06-015	細江図書館	地域		0.1	
	04-024	気賀関所	地域		0.1	
	15-129	細江中学校	生活		0.2	
	03-012	みをつくし文化センター	地域		0.2	
	01-017	北行政センター	地域		0.2	
	09-006	細江健康センター	地域		0.2	
	08-053	中央幼稚園	生活		0.3	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	10-014	施設コード	00928	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	細江介護予防センター			施設	健康福祉部浜名福祉事業所・長寿保険課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		高齢者の健康増進と生きがいのある生活を維持し、要介護状態及び要支援状態になることを予防するために設置							
		主な業務内容	健康増進、介護予防に関する事業の実施						
		主な利用者	浜松市内在住の60歳以上の者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			高齢者は増加しており、ニーズは高まる。					
	特記事項			—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
		事業①	いきいき講座			2023	—	—	297
						2022	—	—	159
						2021	—	—	138
		事業②	元気はつらつ教室			2023	—	—	2,274
				2022	—	—	2,110		
				2021	—	—	2,448		
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現在、主に介護予防事業「元気はつらつ教室」の実施場所として使用している。平成14年に建築した施設であり、今後の施設修繕費の増加が見込まれる。							
	対応策	今後の施設のあり方については、介護予防事業の状況を踏まえ検討する。当面、事後保全による修繕を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	○	—	—	施設の利用状況を含め、近隣の類似施設と統廃合を検討する			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	3,550	3,201	3,639	1人当たりのコスト(円)	493	482	449
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	8,062	7,180	8,230
	1日当たり利用者(人)	16	15	18	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。 高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。 また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。 今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。 全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。						

個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。

リストNo	10-015	施設コード	00974
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	三ヶ日総合福祉センター		
所在(町名・番地)	浜名区三ヶ日町字志803		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 前嶋 卓志
	施設	健康福祉部浜名福祉事業所・社会福祉課	課長名 北村 聡
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市三ヶ日総合福祉センター条例		
設置目的	市民の福祉の向上と健康の増進を図るため		
主な利用者	一般市民、介護保険被保険者、福祉関係団体等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または 包括管理委託等の期間	2024/04/01 ~		
管理者名	中部ビル保善(株)		
開館時間	8:30 ~ 17:15		
建物情報	総延床面積	3,010.53	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1995/10/16	
	経過年数(主要建物)	28	
用途地域		市街化調整区域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	・R4.7月～R5.3まで浴室内壁修繕工事のため、入浴施設休止。		



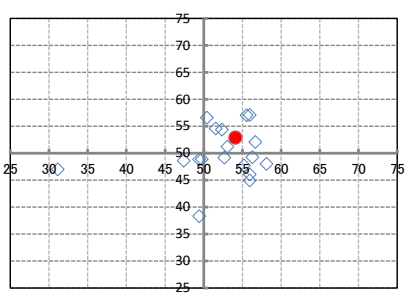
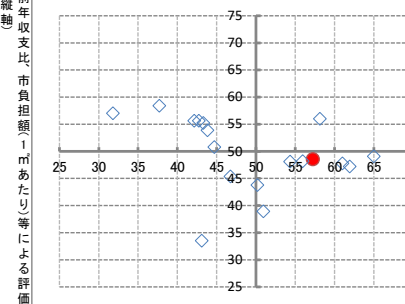
項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	1,434	388	1,404
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3,526	2,582	2,712
	収入計(A)	4,960	2,970	4,116
支出（千円）	人件費	22,754	16,362	16,714
	物件費(委託料)	9,958	7,500	9,789
	維持補修費(修繕費)	4,424	3,362	2,790
	物件費(光熱水費)	5,227	5,079	5,027
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	42,363	32,303	34,320
	行政コスト(B－A)	37,403	29,333	30,204
収支前年比		127.51	97.12	111.09
(参考)指定管理料		37,807	37,807	37,807
(参考)減価償却費		10,815	10,815	10,815
利用状況	利用コマ数/年	460	429	407
	利用可能コマ数/年	1,944	2,056	2,056
	施設利用者数/年	32,416	22,084	32,057
	開館日数/年	254	249	257
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	362,925	226,140	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	浴室改修工事	9,845	2010	非常放送設備設置工事	2,962
	2019	昇降機更新工事	16,968	2009	下水道切替工事	6,327
	2018	ガラス飛散対策工事	4,795			
	2015	空調設備更新工事(老人福祉センター及び児童会)	42,571			
	2013	BEMS導入工事	3,200			
	2010	温水器更新工事	3,675			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	06-014	三ヶ日図書館	地域	0.1
	21-003	三ヶ日斎場	地域	0.2
	14-081	三ヶ日第1分団	コミュニティ	0.2
	13-055	小深田団地	地域	0.2
	14-020	北消防署三ヶ日出張所	地域	0.4
	01-018	三ヶ日支所	地域	0.4
	03-013	三ヶ日文化ホール	地域	0.4
	18-065	旧三ヶ日保健センター別館	地域	0.5



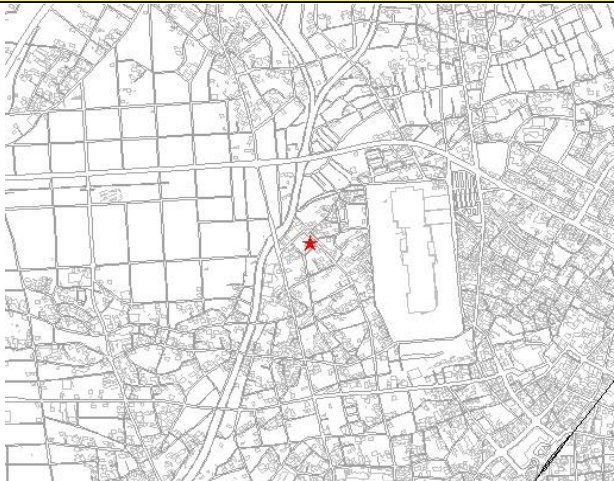
基本情報	リストNo	10-015	施設コード	00974	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課		
	施設名	三ヶ日総合福祉センター			所管課	施設	健康福祉部浜名福祉事業所・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	三ヶ日児童館							
施設運営分析	関連政策名	すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の福祉の向上と健康の増進を図るため							
		主な業務内容	福祉総合相談、福祉教育及び日常生活の自立支援、地域福祉活動・ボランティア活動の育成支援、入浴施設						
		主な利用者	一般市民、介護保険被保険者、福祉関係団体等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢者の増加に伴い、継続したニーズが予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
					2023	—	—	—	
		事業②			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③				2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④				2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化が進んでおり、修繕が必要な箇所が増えてきているため、日頃の設備点検と、計画的な施設改修に努める必要がある。							
	対応策	施設の老朽化に対応するため、必要な修繕を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	○	周辺の公共施設の廃止等も考慮しながら検討			
	複合化	—	—	○	周辺の公共施設の廃止等も考慮しながら検討				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	指定管理者制度導入済み								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	12,424	9,743	10,033	1人当たりのコスト(円)	1,154	1,328	942
	施設利用率(%)	23.7	20.9	19.8	1開館日当たりのコスト(円)	147,256	117,803	117,525
	1日当たり利用者(人)	128	89	125	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等時には、複合化など検討するとともに、民間活力の導入について検討する。								

リストNo	10-016		施設コード	02403		
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設					
施設名	浜北生きがいデイサービスセンター					
所在(町名・番地)	浜名区平口					
利用者の圏域別分類等	地域		非中山間地域			
財産区分	行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		課長名	亀田 岳史	
課	施設	健康福祉部浜名福祉事業所・長寿保険課		課長名	久米 章史	
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		高齢者等で、認知症予防・支援等が必要な者に対し、各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図ることを目的とする。				
主な利用者		要支援認定者及び基本チェックリストにより介護予防が必要と判断された者。				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	145.29		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-				
	建築年月日(主要建物)	2000/11/16				
	経過年数(主要建物)	23			うち借地面積	0.00
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
設置事業費		—	—	—		
財源	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	268	262	262
	維持補修費(修繕費)	19	37	28
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	287	299	290
行政コスト(B-A)		287	299	290
収支前年比		95.99	103.10	91.48
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		941	941	941
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	3,503	3,984	4,784
	開館日数/年	239	239	240
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	9,725	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	10-017	ふれあい交流センター浜北	地域		2.0	
そ の 他 の 分 類	09-007	浜北保健センター	地域		0.0	
	13-064	下小林団地	地域		0.3	
	24-043	下善排水機場	—		0.5	
	03-005	浜北文化センター	市域		0.8	
	15-075	伎倍小学校	生活		0.8	
	07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活		0.8	
	08-073	平口幼稚園	生活		0.9	
	13-069	法師軒団地	地域		1.0	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	10-016	施設コード	02403	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課			
	施設名	浜北生きがいデイサービスセンター				施設	健康福祉部浜名福祉事業所・長寿保険課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		高齢者等で、認知症予防・支援等が必要な者に対し、各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図ることを目的とする。								
		主な業務内容	介護予防のための元気はつらつ教室を開催する。							
		主な利用者	要支援認定者及び基本チェックリストにより介護予防が必要と判断された者。							
		設置目的の継続性・妥当性								
			設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	民間事業者における受け皿整備が進み、当施設のニーズは減少する。							
		特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
									のべ募集人員	参加者数
		事業①	元気はつらつ教室事業				2023	—	5,760	3,503
							2022	—	5,736	3,984
							2021	—	5,760	4,784
		事業②	—				2023	—	—	—
2022							—	—	—	
2021							—	—	—	
事業③		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業④		—				2023	—	—	—	
	2022					—	—	—		
	2021					—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現在、介護予防事業「元気はつらつ教室」実施場所として使用しており、他の用途には使用していない。築23年が経過し、設備的には、これまで大規模改修等は行っておらず、更新の時期が近付いている。今後、施設修繕費の増加が予想される。								
	対応策	今後の施設のあり方については、介護予防事業の方向性を踏まえ検討する。当面、事後保全による修繕を行っていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	○	—	民間事業者による受け皿整備状況を踏まえて廃止を検討				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民生導入	現在は市委託事業としての実施であるが、採算面が合えば、民間事業者が介護予防事業として新規参入することも考えられる。デイサービスは送迎を伴うことから、当地域において受け皿が確保されれば、当施設を廃止し、事業を民間に委ねることも可能である。									

参考指標	項目				項目			
	2023	2022	2021	2023	2022	2021		
	行政コスト/面積(円)	1,975	2,058	1,996	1人当たりのコスト(円)	82	75	61
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	1,201	1,251	1,208
	1日当たり利用者(人)	15	17	20	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

縦軸
利用状況、前年収支比率等による評価

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価
(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考
公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

利用用途別分類毎の方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。
高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。
また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。
今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。
全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。

個別方針	1資産の見直し	廃止	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。当該地域における介護予防事業の民間事業者によるサービス提供の可能性を探り、施設の廃止も視野に検討する。

リストNo	10-017	施設コード	05437
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	ふれあい交流センター浜北		
所在(町名・番地)	浜北区小林1272-1		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史
	施設	健康福祉部浜名福祉事業所・長寿保険課	課長名 久米 章史
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあい交流センター条例		
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するために設置。(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)		
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	(株)ヤタロー		
開館時間	9:00 ~ 16:30		
建物情報	総延床面積	2,301.63	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1999/7/10	
	経過年数(主要建物)	24	
用途地域		第一種住居地域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	・維持管理経費及び施設利用者数は複合施設である浜北社会福祉会館(開館9:00~21:30)含む。		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	187	194	137
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,384	208	324
	収入計(A)	1,571	402	461
支出(千円)	人件費	13,394	12,398	11,882
	物件費(委託料)	7,152	7,726	7,593
	維持補修費(修繕費)	825	1,811	1,310
	物件費(光熱水費)	4,447	5,741	4,340
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	25,818	27,676	25,125
行政コスト(B-A)		24,247	27,274	24,664
収支前年比		88.90	110.58	94.11
(参考)指定管理料		30,000	24,240	24,240
(参考)減価償却費		19,507	19,507	19,507
利用状況	利用コマ数/年	7,603	7,447	6,207
	利用可能コマ数/年	31,848	31,539	29,793
	施設利用者数/年	47,450	42,814	40,166
	開館日数/年	310	307	301
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	191,379	404,714	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	LED照明器具等導入工事	10,230			
	2020	浴室改修工事	23,301			
	2016	屋上防水改修工事	6,236			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	10-016	浜北生きがいデイサービスセンター	地域	2.0
その他の分類	24-041	小林雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.3
	08-074	北浜北幼稚園	生活	0.4
	07-082	第一・第二すみれクラブ	生活	0.5
	07-064	第一・第二すずらんクラブ	生活	0.5
	15-083	北浜北小学校	生活	0.5
	24-042	瀬崎雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.6
	08-068	北浜中央幼稚園	生活	0.8
	17-008	美蘭中央公園	地域	0.9



基本情報	リストNo	10-017	施設コード	05437	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課			
	施設名	ふれあい交流センター浜北			施設	健康福祉部浜名福祉事業所・長寿保険課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	浜北社会福祉会館								
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するために設置。(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)								
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等							
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。				
	特記事項				—					
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
									のべ募集人員	参加者数
		事業①	各種講座・イベント等の実施(施設利用者数)				2023	—	—	41,444
							2022	—	—	36,811
							2021	—	—	35,811
		事業②	貸館特別利用				2023	—	—	6,000
2022							—	—	5,999	
2021							—	—	4,351	
事業③		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業④		—				2023	—	—	—	
	2022					—	—	—		
	2021					—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築24年が経過し、経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。一定規模の修繕については指定管理者負担で行ってもらっているものの、今後想定される大規模改修や設備更新については市で実施する必要がある。								
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。				
	広域化	—	—	—	—					
民生導入	指定管理制度導入済みである。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	10,535	11,850	10,716	1人当たりのコスト(円)	511	637	614
	施設利用率(%)	23.9	23.6	20.8	1開館日当たりのコスト(円)	78,216	88,840	81,940
	1日当たり利用者(人)	153	139	133	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性				利用用途別分類毎の方向性			
	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。 これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。 高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。 また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。 今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。 全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。								

リストNo		10-018	施設コード		01493	
利用用途別分類(施設分類)		高齢者福祉施設				
施設名		水窪高齢者交流センター				
所在(町名・番地)		天竜区水窪町奥領家2711-1				
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課			課長名	亀田 岳史
	施設	健康福祉部天竜福祉事業所・長寿保険課			課長名	谷野 聡
設置根拠(法)		—				
条例		浜松市水窪高齢者交流センター条例				
設置目的		高齢者の健康増進及び生きがいのある生活を維持するため設置 (浜松市水窪高齢者交流センター条例第1条)				
主な利用者		高齢者、放課後児童 等				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		9:00 ～ 16:30				
建物情報	総延床面積	233.30		土地情報	土地面積	827.02
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	827.02
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1983/3/1				
	経過年数(主要建物)	41			代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 （千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	126	141	128
	収入計（A）	126	141	128
支出 （千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	117	131	144
	維持補修費（修繕費）	380	72	238
	物件費（光熱水費）	206	233	200
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	703	436	582
行政コスト（B－A）		577	295	454
収支前年比		195.59	64.98	181.60
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		653	653	653
利用 状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	1,824	1,797	2,279
	開館日数／年	217	241	228
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	7,374	14,663	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2008	下水道接続工事	2,155			
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	15-095	水窪小学校	生活		0.1	
	14-143	水窪第1分団第3部大里詰所ほか3施設	コミュニティ		0.1	
	02-004	神原下教職員住宅	地域		0.1	
	14-142	水窪第1分団第1部本町詰所	コミュニティ		0.2	
	02-005	神原上教職員住宅	地域		0.2	
	25-021	旧簡易水道新道	—		0.2	
	02-010	神原市有住宅	地域		0.3	
	13-076	水窪団地	地域		0.3	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	10-018	施設コード	01493	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課				
	施設名	水窪高齢者交流センター			所管課	施設	健康福祉部天竜福祉事業所・長寿保険課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—				
	複合施設	—									
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応									
	設置の妥当性	設置目的(再掲)									
		高齢者の健康増進及び生きがいのある生活を維持するため設置(浜松市水窪高齢者交流センター条例第1条)									
		主な業務内容	元気はつらつ教室、放課後子ども教室								
		主な利用者	高齢者、放課後児童 等								
		設置目的の継続性・妥当性									
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。						
	特記事項				—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)					年度	事業費(千円)	実施状況		
									のべ募集人員	参加者数	
		事業①	元気はつらつ教室・開催日数:102日(2023)※原則として、毎週木曜日・金曜日(曜日よりメンバーは異なる)に開催。					2023	—	800	1,014
								2022	—	800	981
								2021	—	800	938
		事業②	放課後子ども教室・開催日数:199日(2023)※原則として、週3～5回					2023	—	1,200	670
								2022	—	1,200	690
								2021	—	1,200	1,226
事業③		神原いきいき教室(サロン活動)・開催日数:11日(2023)					2023	—	—	140	
							2022	—	—	126	
							2021	—	—	115	
事業④		—					2023	—	—	—	
							2022	—	—	—	
	2021						—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)											
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	本施設は、昭和58年国の施設(法務局)として建築、平成13年旧水窪町に譲渡され、介護予防拠点施設として改築された施設である。現在、主に介護予防事業「元気はつらつ教室」実施場所として使用している。築40年が経過し、施設・設備の老朽化が進行している。									
	対応策	令和7年度に公共建築課発注による長寿寿命化工事(小規模改修工事)を実施する計画である									
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄					
		廃止	—	—	—	—					
		民間移管	—	—	—	—					
		管理主体変更	—	—	—	—					
		代替サービス	—	—	—	—					
		統廃合	—	—	—	—					
		複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—						
民生導入	無料施設のため、民営化は難しいものと考えている。また、山間部のため、引き受け先を見出すことが難しい。										

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,473	1,264	1,946	1人当たりのコスト(円)	316	164	199
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	2,659	1,224	1,991
	1日当たり利用者(人)	8	7	10	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			

参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。 高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。 また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。 今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。 全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。					

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
当面適切な維持管理に努める。							

リストNo		10-019		施設コード		01219			
利用用途別分類(施設分類)		高齢者福祉施設							
施設名		春野福祉センター							
所在(町名・番地)		天竜区春野町宮川1330							
利用者の圏域別分類等		地域			中山間地域				
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設			
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課			課長名	前嶋 卓志			
	施設	健康福祉部天竜福祉事業所・社会福祉課			課長名	芦澤 信之			
設置根拠(法)		無し							
条例		浜松市春野福祉センター条例							
設置目的		市民福祉の向上と健康増進を図るため							
主な利用者		福祉関係団体、地域住民、レジャー客、市委託事業参加者							
運営形態		指定管理者							
指定管理または 包括管理委託等の期間		2022/04/01 ～							
管理者名		中部ビル保善(株)							
開館時間		9:00 ～ 21:00							
建物情報	総延床面積	1,525.82		土地情報	土地面積		0.00		
	構造(主要建物)	木造			うち所有面積	0.00			
	地上階数(主要建物)	2				うち借地面積	0.00		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					代表地目(現況地目)		
	耐震工事(主要建物)	-							
	建築年月日(主要建物)	1998/11/17							
	経過年数(主要建物)	25							
用途地域		都市計画区域外							
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計			
設置事業費		—		—		—			
財源	国・県	—		—		—			
	寄付金	—		—		—			
	その他	—		—		—			
	市債	—		—		—			
	一般財源	—		—		—			
特記事項	—								



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	1,843	1,756	1,735
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	630	320	263
	収入計(A)	2,473	2,076	1,998
支出 (千円)	人件費	4,555	3,876	3,923
	物件費(委託料)	4,471	4,965	4,635
	維持補修費(修繕費)	1,271	1,107	1,318
	物件費(光熱水費)	7,354	7,901	6,450
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	17,651	17,849	16,326
行政コスト(B-A)		15,178	15,773	14,328
収支前年比		96.23	110.09	100.41
(参考) 指定管理料		12,979	13,005	12,095
(参考) 減価償却費		331	17,993	22,226
利用 状況	利用コマ数/年	912	809	1,036
	利用可能コマ数/年	21,024	21,024	21,312
	施設利用者数/年	11,361	11,695	11,138
	開館日数/年	292	292	296
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	空調熱源設備改修工事	45,078			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)

その他の分類	06-017	春野図書館	地域	0.0
	04-026	春野歴史民俗資料館	地域	0.0
	01-025	春野支所	地域	0.3
	14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域	0.3
	14-126	春野第3分団宮川	コミュニティ	0.4
	21-007	春野斎場	地域	0.6
	26-022	気田浄化センター	—	0.8
	03-017	春野文化センター	地域	1.2

施設周辺地図情報

基本情報	リストNo	10-019	施設コード	01219	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課		
	施設名	春野福祉センター			施設	健康福祉部天竜福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民福祉の向上と健康増進を図るため							
		主な業務内容	貸館業務、入浴施設、福祉総合相談、地域福祉活動・ボランティア活動の育成支援						
		主な利用者	福祉関係団体、地域住民、レジャー客、市委託事業参加者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢者の増加に伴い、継続したニーズが予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②	—			2023	—	—	—
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の開設から25年が経過し、施設・設備の老朽化が進み、修繕が必要な箇所が増えているため、日頃の施設点検と計画的な施設修繕に努める必要がある。							
	対応策	安全に利用していただくために、緊急性の高い設備から改修する必要がある。地域住民の利用を促進するため、ニーズにあった事業展開や活動拠点施設としての機能を向上させていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	○	周辺の公共施設の廃止等も考慮しながら検討			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	指定管理者制度導入済み								

項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積(円)	9,947	10,337	9,390
施設利用率(%)	4.3	3.8	4.9
1日当たり利用者(人)	39	40	38
図書貸出率(%)	—	—	—
入居率(%)	—	—	—

項目	2023	2022	2021
1人当たりのコスト(円)	1,336	1,349	1,286
1開館日当たりのコスト(円)	51,979	54,017	48,405
1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)
利用状況、前年収支比率等による評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)
前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価(縦軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考：公共施設の区域毎の方向性
利用者のニーズ等の把握と対応策の検討
利用用途別分類毎の方向性

これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。
高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。
また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。
今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。
全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。

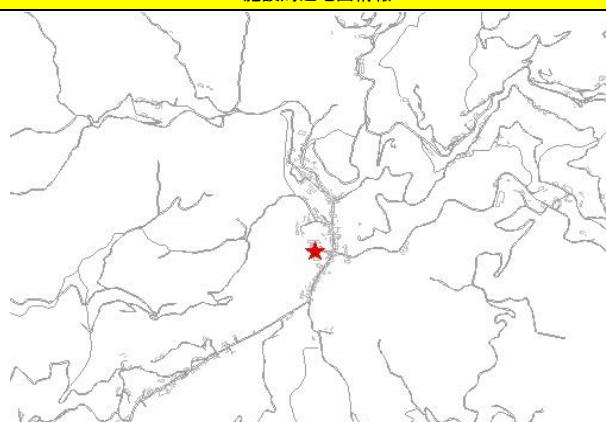
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—
2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—

当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等や更新が必要となった時点で、利用状況や地域の状況を踏まえ複合化など検討する。

リストNo		10-021	施設コード	00059	
利用用途別分類(施設分類)		高齢者福祉施設			
施設名		くまみデイサービスセンター			
所在(町名・番地)		天竜区熊2153			
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域	
財産区分		行政財産		公共用財産	
				その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		課長名	亀田 岳史
	施設	健康福祉部天竜福祉事業所・長寿保険課		課長名	谷野 聡
設置根拠(法)		介護保険法			
条例		—			
設置目的		介護保険法による通所介護施設			
主な利用者		介護保険利用者、介護予防事業対象者			
運営形態		直営			
指定管理または包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		10:00 ～ 16:00			
建物情報	総延床面積	127.20	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造			
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1983/3/1			
	経過年数(主要建物)	41		代表地目(現況地目)	
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	令和6年3月18日付浜松市指令天健長第21号により、社会福祉法人天竜厚生会に対して、行政財産の使用許可(介護保険法に基づく通所介護事業所として)を行っている。				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	416	33	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	416	33	0
	行政コスト(B-A)	416	33	0
収支前年比		1260.61	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		378	378	378
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	909	684	822
	開館日数/年	206	207	209
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,683	—	

	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な改修履歴						
近隣施設						
同分類	No	施設名			圏域種別	距離(km)
その他の分類	15-090	熊小学校			生活	0.0
	03-059	熊ふれあいセンター			生活	0.2
	25-023	旧熊市場簡易水道			—	0.3
	14-120	天竜第11分団熊			コミュニティ	0.4
	04-050	黒滝あずまや			小規模等	1.8
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	10-021	施設コード	00059	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	くまみデイサービスセンター			所管課	施設	健康福祉部天竜福祉事業所・長寿保険課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		介護保険法による通所介護施設							
		主な業務内容	介護保険通所介護事業、介護予防事業(元気はつらつ事業)						
		主な利用者	介護保険利用者、介護予防事業対象者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。					
	特記事項			—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	高齢者デイサービス事業・開催日数:206日(2023)			2023	—	—	906
						2022	—	—	684
						2021	—	—	822
事業②		元気はつらつ教室・開催日数:0日(2023)※原則として金曜日に開催。欠席あるいは登録者がいないときは開催なし。			2023	—	450	—	
					2022	—	450	—	
					2021	—	450	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
	2021				—	—	—		
事業④	—			2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築39年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。							
	対応策	当面、事後保全による修繕を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	山間部のため、受け入れ先を見出すことが難しい。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	3,270	259	0	1人当たりのコスト(円)	458	48	0
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	2,019	159	0
	1日当たり利用者(人)	4	3	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価					縦軸 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			

参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域 毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。										
	利用用途別分類 毎の 方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。 高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。 また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。 今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。 全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。										

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
当面適切な維持管理に努める。							

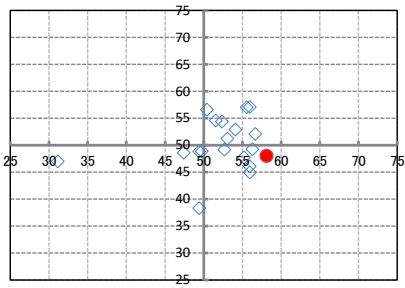
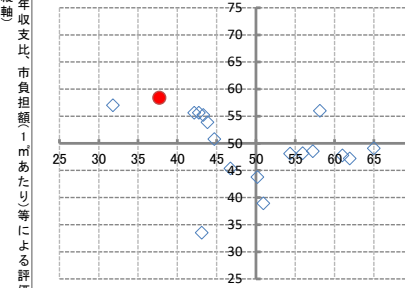
リストNo		10-022		施設コード		02469		
利用用途別分類(施設分類)		高齢者福祉施設						
施設名		舞阪高齢者福祉施設						
所在(町名・番地)		中央区舞阪町弁天島3110-3						
利用者の圏域別分類等		コミュニティ			非中山間地域			
財産区分		普通財産		普通財産		その他		
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課			課長名	亀田 岳史		
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課			課長名	大村 貴弘		
設置根拠(法)		—						
条例		—						
設置目的		地域高齢者の活動拠点として、また災害時における避難所として設置						
主な利用者		第二弁天自治会、第二弁天島老人クラブ						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	195.46		土地情報	土地面積	255.66		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	255.66		
	地上階数(主要建物)	2				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2007/3/15			代表地目(現況地目)		宅地	
	経過年数(主要建物)	17						
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	419	501
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	419	501
行政コスト(B-A)		0	419	501
収支前年比		0.00	83.63	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,025	1,025	1,025
利用 状況	利用コマ数/年	81	34	14
	利用可能コマ数/年	732	730	730
	施設利用者数/年	737	527	290
	開館日数/年	366	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	10,264	29,158	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2006	施設建築工事	44,786			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域		0.4	
	10-008	ふれあい交流センター舞阪	地域		1.9	
その他の分類	13-036	蓬萊園団地	地域		0.2	
	08-015	舞阪第1保育園	生活		0.2	
	26-015	蓬萊園中継ポンプ場	—		0.3	
	04-017	渚園	地域		0.4	
	26-016	観月園中継ポンプ場	—		0.5	
	04-046	弁天島駅観光案内所	小規模等		0.6	
	26-014	弁天島中継ポンプ場	—		0.7	
	01-015	舞阪支所	地域		0.8	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	10-022	施設コード	02469	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課		
	施設名	舞阪高齢者福祉施設			所管課	施設	健康福祉部中央福祉事業所・長寿支援課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		地域高齢者の活動拠点として、また災害時における避難所として設置							
		主な業務内容	地域高齢者の活動拠点						
		主な利用者	第二弁天自治会、第二弁天島老人クラブ						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者がある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の利用者があり、ニーズはある。						
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
			事業①	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
			事業②	2023	—	—	—		
2022			—	—	—				
2021			—	—	—				
事業③			2023	—	—	—			
2022			—	—	—				
2021			—	—	—				
事業④			2023	—	—	—			
2022	—	—	—						
2021	—	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	地元の高齢者のために使用していただきたいという意思のもとに、旧舞阪町の宮本英雄氏による寄付物件のため、地元管理。光熱水費は、地元自治会の負担としている。築年数を重ね、修繕必要箇所が出てきている。							
	対応策	当面、事後保全による修繕を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	2,144	2,563	1人当たりのコスト(円)	0	795	1,728
	施設利用率(%)	11.1	4.7	1.9	1開館日当たりのコスト(円)	0	1,148	1,373
	1日当たり利用者(人)	2	1	1	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	貸付け財産として適切な維持管理に努める。							